

# ブルーメタリ大作戦 2

ミッションファイル2 [WBR-1 1] について

2004年3月14日 22:46:42 更新



ブルー遺伝子を持つC日3♀  
+  
ワイルドブルー♂

=セット名 WBR-1

←

WBR-1の♀  
+  
ワイルドブルー♂

実験コードネーム  
WBR-11

↓

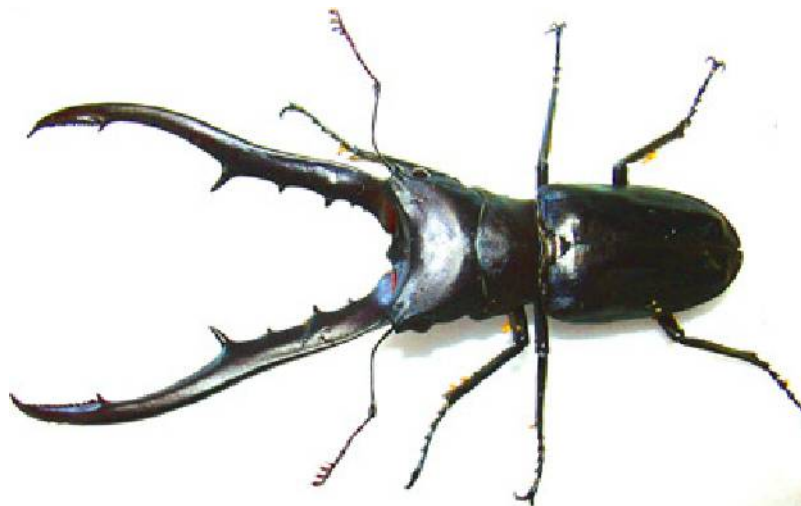
2003.0923 より開始

WBR-1の♂が羽化してこないで、先に羽化している♀を使い新たなミッションを開始  
今回の作戦は、更なるブルー遺伝子を追加しブルー個体を決定付ける作戦である

ブルーへの道のりは、遠いが必ず満足行く結果が出ると信じて開始する

今後の予定だが、今回使用するブルー♂と腹部ブルーのペレン・タタバ産♀を掛け合わせるミッ  
ションも思案中

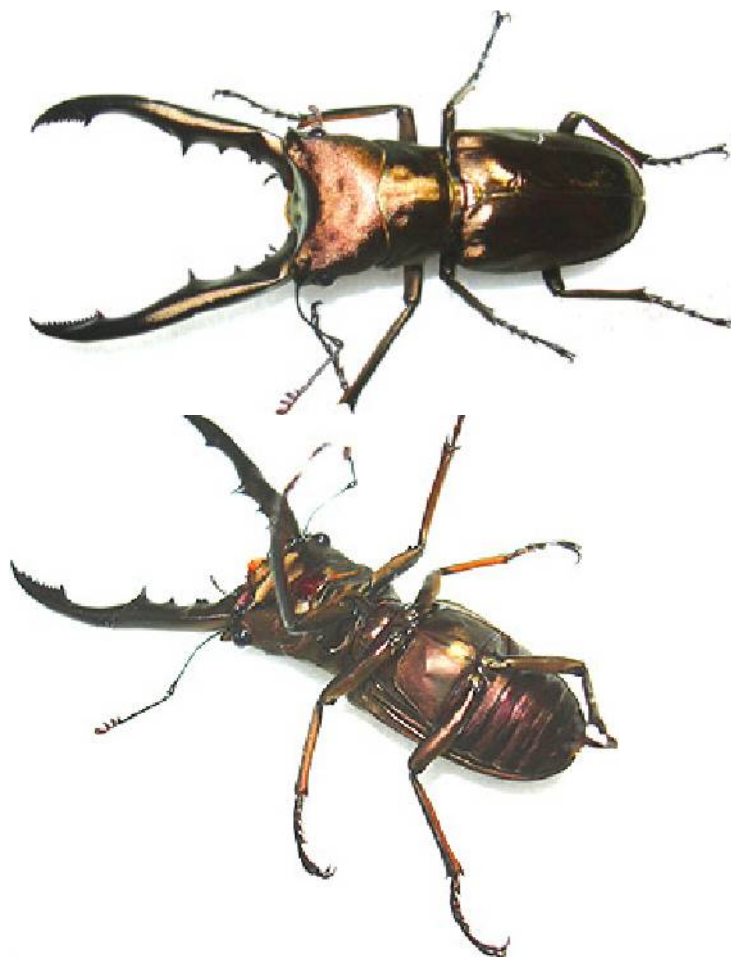
仮コードネーム・・・WBR-12

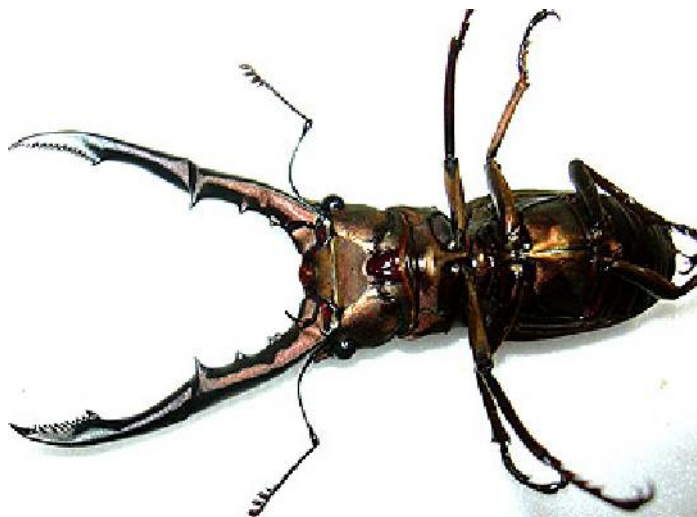


今回使用するワイルドブルー♂↑  
色彩的にやや暗いブルーで頭部より上拵のブルーが美しい個体  
大アゴはレッドブルー、体の裏側はレッド個体

WBR 系統の♂の中でブルー♂のみがみせる腹部がワインレッドの♂が羽化してきました

これは かなり有望な遺伝子を受け継いでいる模様です  
個体番号はWBR-A-10です  
RMB系統でブルーを出現させた♂に感じが良く似ています

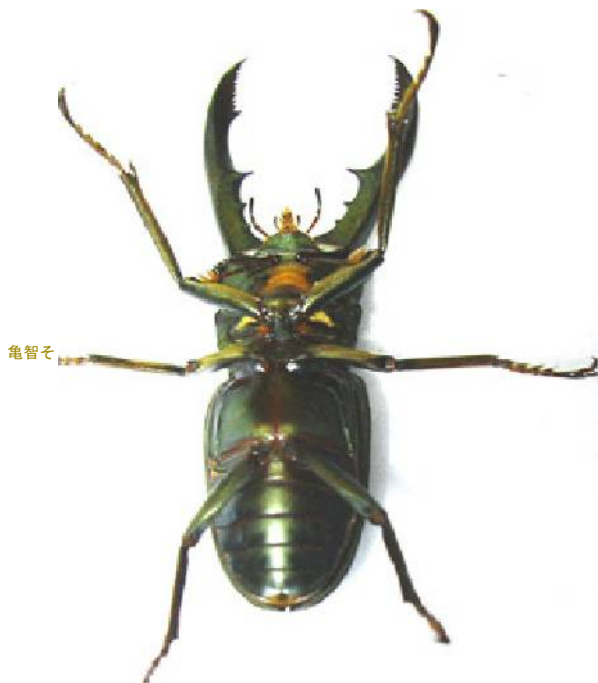
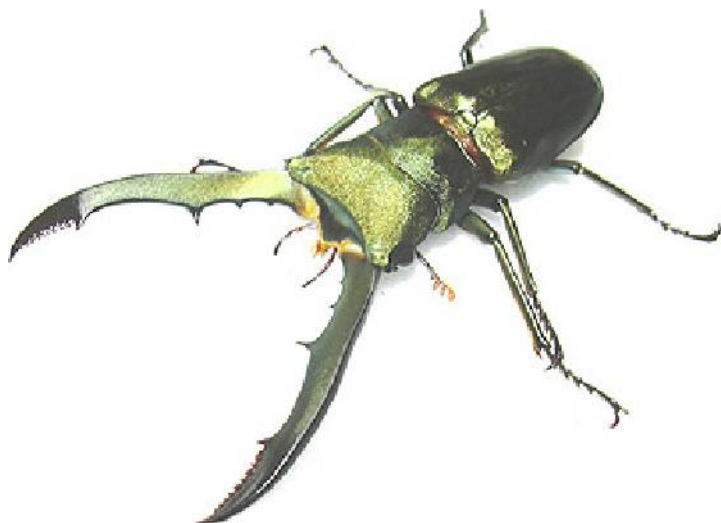
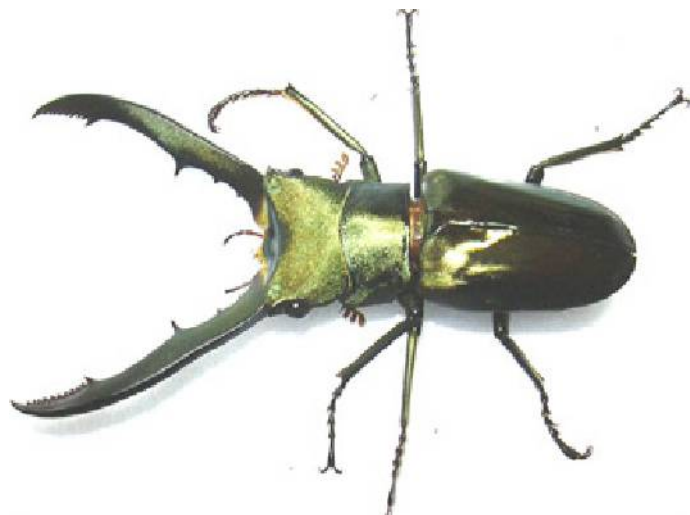




上の画像のような腹部ワインレッドでアゴの中央より先端方向にブルーが浮かぶ個体は  
これまでの経緯から考えると  
かなり次世代にブルーが出現してくる可能性が高いと思われます  
言わば選ばれた個体であると言えます  
今後この個体を種親にセットし遺伝子の行方を捜してゆこうと思つてます  
ミッションナンバーはWBR-A-10〔CB1〕に決定

WBR 系統は様々なカラーが羽化してくるので どの個体も次世代が楽しみです

下の画像は タタバ産CB4代目の究極ブルーグリーン個体です





特に前胸と腹部にブルーが強調されています  
 この傾向は次世代で更に強くなると思われ今後の動向が楽しみな系統です  
 実験コードネーム・・・PTACB4-R1と命名 [2003年11月3日 13:12:28]

### 2003年11月30日現在までにセットしたミッション名一覧

WBR-11	ワイルドブルー♂+ WBR-1♀ [CB1]		
WBR-12	ワイルドブルー♂+タタバ産の腹部ブルー♀ [F3]		
VVBR-A-10	WBR-1 系統ワインカラー♂+ WBR-1♀ [CB-1ペア]		
PTACB4-R1	タタバ産ブルーグリーン♂+タタバ産♀ [CB-4ペア]		
PTACB4-R2	タタバ産ブルーグリーン♂+タタバ産♀ [CB-4ペア]		
PTACB4-R3	タタバ産ブルーグリーン♂+タタバ産♀ [CB-4ペア]		

バチヤン島メタリフェルにもグリーン個体が出てきているので  
 こちらもブルーに挑戦して見たいと思う  
 バチヤン産の個体はホログラムタイプで後方より斜光で頭部を見るとブルーになるので  
 こちらもセットするのが楽しみとなっている



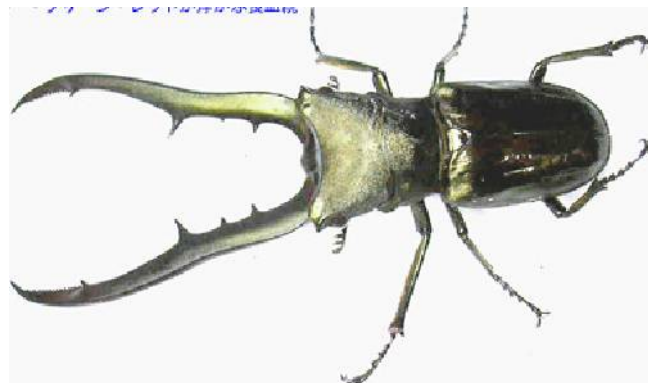
ミッドS

種別不明の♀ (F) 産卵後、幼虫? (I)



2004年3月13日新たなメタリフェル大作戦開始  
F5 どおしの良血統 ミッションNO...FDB-1と命名  
ダークメタリックカラーのみと腹部ブルーのブラック♀の掛け合わせ  
このペアは期待大

ペレメタF系統ダークカラーF5  
ブルー・グリーン・レッドが浮かぶ良血統「



F ■ I

%o

ペレメタ・グリーンレッドからの累代  
ブラック♀の腹部ブルータイプ

続いてワイルドブルーとタタバ産ブラック♀の新ユニットWBR-13  
こちらも期待大のペア



2004年3月14日WBR-11セットの幼虫に異変があった  
12頭の幼虫を取り出したところ 頭部が黒つぼい幼虫3頭を見つけた  
何やら胸騒ぎが・・・・・・通常のペレメタ幼虫は綺麗な薄いオレンジ色なのだが  
この3頭のみは違う ひよつとして幼虫時代からブルーもしくはブラックの色彩を持っているの  
で

はないだろうか  
などと想像が・・・・・・いや直感かも知れない・・・・・・



右側の幼虫が黒つぽく変色した頭を持つWBR-11 系統と左が普通色のWBR-11 系統幼虫

この黒つぽい頭の幼虫には しっかりとマークしておく必要があるそう  
心なしか幼虫の脚も黒つぽく感じる  
4ヶ月先が楽しみなことになってきました